

～子どもたちのすこやかな成長を願って～

市では、子どもたちの疾病や障がいの早期発見、すこやかな成長と発達を支援するために乳幼児健康診査を実施しています。乳幼児健康診査には集団健康診査と個別健康診査があります。

対象の人は必ず受診しましょう



集団健康診査

疾病の早期発見の機会となるほか、保護者同士の交流の場、日ごろの悩みを相談する場になっています。

4か月児健康診査 4か月になった翌月に実施

- 内容
- 小児科医の診察 ○身体測定
 - 集団離乳食学習 ○ブックスタート
 - 相談（保健師・助産師・栄養士）



親子のふれあいを
はぐくむ
ブックスタート
絵本を1冊プレゼント
しています。



1歳6か月児健康診査 1歳6か月になった翌月に実施

- 内容
- 小児科医・歯科医の診察 ○身体測定
 - フッ化物塗布・歯みがき指導
 - 相談（保健師・保育士・心理士・栄養士・歯科衛生士）



むし歯予防に
効果がある
フッ化物塗布
継続して塗布すると
さらに効果が
あります。

3歳児健康診査 3歳4か月になった翌月に実施

- 内容
- 小児科医・歯科医の診察 ○身体測定
 - 検尿 ○聴力検査 ○視力検査
 - 視機能検査機器でのスクリーニング
 - 相談（保健師・保育士・心理士・栄養士・歯科衛生士）
- 3歳児健康診査以降は就学前健診まで集団健診はありません。
必ず受診しましょう。



視機能検査機器とは

乱視や斜視等のスクリーニングが
できる機械です。
治療が必要な子どもさんの
早期発見につながっています。



個別健康診査

1か月児健康診査 小児科または産婦人科

9～10か月児健康診査 小児科

医療機関に予約が必要です。個別通知は行っていません。

母子健康手帳別冊の「乳児一般健康診査受診票」を使って受診しましょう。

※満1歳になった日の属する月の末日が有効期限です。ただし、1日生まれは満1歳になる日の前日までです。

10月1日から 幼児教育・保育の無償化が始まります。

対象者

- ・幼稚園、保育所、認定こども園、児童発達支援等を利用する3歳から5歳までの全ての子ども
- ・保育所、認定こども園を利用する住民税非課税世帯の0歳から2歳までの子ども
- ・国の基準を満たす一時預かり事業、幼稚園の預かり保育、認可外保育施設、病児・病後児保育事業、ファミリーサポートセンター事業を利用し、かつ「保育の必要性の認定」を受けている3歳から5歳までの子どもと住民税非課税世帯の0歳から2歳までの子ども

※無償化の対象となる金額に上限が設定されている場合があります。また、保護者から実費で徴収する費用（通園送迎費、給食費（主食費、副食費）、行事費など）は、無償化の対象外となります。
※詳しい内容については、各保育所、幼稚園を通じて配付するおたよりをご覧ください。下記までおたずねください。

おたずね／保育幼稚園課 ☎21-6964

※児童発達支援等については、福祉推進課（21-6961）におたずねください。

児童クラブについて



子どもたちが明るく元気に育つのが見ると、未来に希望を感じます。毎日心豊かに過ごし、子どもも大人も、「えがおになあれ」…そんな願いを込めて、このコーナーを設けました。
(出雲市要保護児童対策地域協議会)

市では、就労などにより、保護者が昼間家庭にいない小学生児童を対象に放課後児童クラブを開設しています。平日は、放課後から18時まで、土曜日及び長期の休み期間は8時から18時までお子さんを預かります。延長預かりをしているクラブもあります。

市内には、市や社会福祉法人が設置するクラブが合計46か所ありますが、近年入所希望が増え、受け入れ児童数は2千200人を超えています。

市が設置するクラブの運営は各地区の「運営委員会」に委託され、さまざまな人たちにより地域ぐるみで子育て支援をしています。

児童クラブで生活する日数は、

ごこのすごしひた	ごせんのすごしひた
おはらわ 1:00	かわせう あそび 8:00
DVDの じかん 2:00	しゅつじ の じかん 8:45
おやつ 3:00	あそび あそび 9:15
じゅっしゅ の じかん 3:30	おやつ 9:30
そくじ 5:40	しゅっしゅ の じかん 10:00
どくしょ 5:50	あそび あそび 12:00

児童クラブのスケジュールの一例

おたずね／子ども政策課
子ども家庭相談室 ☎6604

年間を通せば学校より長くなります。適切な遊びや生活の場を提供して、子どもの状況や発達段階を踏まえながら健全な育成をめざしています。

クラブでは、専任の支援員をはじめ職員がきめ細やかにサポートし、自主的な学習、楽しい語りや、ふれあいなどを通じ、子どもたちがのびのびと楽しい生活を送ることができるよう努めています。

また、保護者の皆さんとの連携も欠かせません。クラブと家庭が一緒になって、子どもたちの成長を支援できるよう取り組んでいます。

(執筆：出雲市児童クラブ運営委員長会)